

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム
ページは
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます

6月のイベント

状況により変更・中止する場合は、ホームページ
やtwitterで随時お知らせします。

●セタイベント

期間：6月22日（土）～7月7日（日）

場所：1階 おはなしコーナー付近

内容：短冊に願い事を書いて笹に飾りましょう。
どなたでもお気軽にご参加ください。

●第3回市貝としゃかん小祭り

日時：6月23日（日）9:30～17:00



★雑誌リサイクル市 9:45～17:00

場所：2階 企画研修室

内容：図書館で除籍となった雑誌を配布します。
持ち帰り用のバッグをお持ちください。

★ブックフリーマーケット in 図書館小路

10:00～12:30

場所：図書館西側屋外通路

内容：出店希望者によるフリーマーケットです。

販売品：本・CD・DVD・ビデオ・レコード・
ゲームソフト限定

★ダンボの会のおはなし会 10:30～（50分程度）

内容：ボランティアによる絵本の読み聞かせです。

★キッチンカー出店 9:30～

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

☆「いっと紙幣」を集めよう！☆

市貝図書館のイベントに参加するともらえる
「いっと紙幣」を集めると、集めた枚数によって
オリジナルグッズと交換できます。
期限はありませんので気軽に
チャレンジしてみてくださいね。



×（旧ツイッターでも
情報配信中！）



市貝町立図書館

『いっとくん』

@ittokun_ichikai



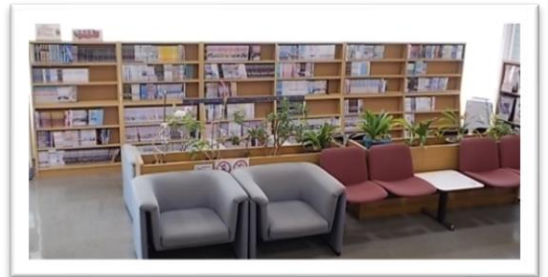
★開館時間 9:30～19:00★



★コミックスの書架を

購入しました★

コミックスの書架を購入し、スペースが増えました。
市貝図書館のコミックスは、利用者様からの寄贈によ
るものがほとんどです。2024年4月現在、4,323冊
の所蔵があります。（シリーズの続きを書庫にしまっ
ているものもあります）ぜひご利用ください。



●歴史民俗資料館のイベント

刊行記念「市貝町の宮大工・彫物師展」

期間：6月1日（土）～7月14日（日）

※休館日は図書館と同じ

内容：令和5年度に新たに刊行された「市貝町の宮大
工・彫物師」について、神社や彫刻の魅力を紹介
します。

お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020

図書館カレンダー

6/23

第3回としゃかん小祭り開催★

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ …休館日

★しょうちゃんコレクション リニューアルしました★

市貝図書館では、なんでもコレクターの当館顧問「しょうちゃん」のショーケースがあります。現在、カードコレクション第2弾を展示しています。大谷翔平選手が更新するまで、メジャーリーグ日本人ホームラン数トップだった松井秀喜さんのカードやグッズがたくさんあります。

来館の際は、入口横のしょうちゃんケースにもぜひご注目ください。



今月のスタッフおすすめ本

一般書

「海と月の迷路」

大沢 在昌 // 著
(講談社)

日本のハードボイルドの旗手として「新宿鮫」「狩人」など沢山のヒットシリーズを持つ人気作家。

この作品は2014年に吉川英治文学賞を受賞。大沢在昌作品には珍しい旅情溢れる作品です。物語は、高度成長期の日本で一番人口密度だった長崎県の端島、俗に言う軍艦島へ一人の若い警察官が赴任する。そこで一人の少女の水死体が…自殺か事故か他殺か？そのストーリー性もさることながら、軍艦島の情景描写がすばらしく、結末が解っていてももう一度読み返したくなる作品です。

(スタッフ：くるりんパン)



児童書 (低学年向け)

「それで、いい！」

磯 みゆき // 著
(ポプラ社)

絵をかくことが大好きなきつね。展覧会に向けて「みんなが おどろくような すごい絵をかいてやる！」と意気込んでいたのに、周りからかいた絵をどう思われるか気になり始めます。絵をかくことがだんだん苦しくなってしまうきつね。そんなとき、うさぎに「きつねちゃんの絵、大好き」といわれて。そのままのあなたでいいよとやさしく教えてくれるお話です。
(スタッフ：バムちゃん)

YA (中高生向け)

「君は月夜に光り輝く」

佐野 徹夜 // 著
(KADOKAWA)

佐野徹夜氏のデビュー作！
渡良瀬まみずは、月の光を浴びると体が淡く光る「発光病」で、余命わずか。主人公・岡田卓也は「死ぬまでにやりたいことリスト」を見て、その願いを代行することに…。二人の間に芽生える儂い恋の物語。

(スタッフ：クロニャン)



しょうちゃんのこと

この時期になると思い出すことがあります。「結(ゆい)」という言葉で、この地方では「よいどり」と言っています。地域によっては「よいっばか」とも言います。今ではあまり使わないので知らない人が多いのですが、昔は田植えや稲刈りなど農作業で忙しい時期に、組内の農家はお互いに労力を交換し合い、雇ったり雇われたりして協力しました。それが結という仕組みです。結で自分の家が助けてもらった家の仕事を労働力でお返ししました。田植えや稲刈りの他に、麦刈り・葉たばこの収穫などいろいろな作業がありました。その時に食べるのが小昼飯と言って、朝昼晩以外の農作業の合間などの小腹が空いた時に食べる郷土料理で、栄養を補給する地元ならではの食文化でした。本町では主に「こじはん」と言っていました。炭酸饅頭・赤飯・練(にしん)とタケノコの煮つけなどが今でも思い出されます。大変な時や困った時に近所や地域の人たちが助け合う、思いやりの気持ちが基本にあります。助けてもらったらお返しをするという心、こうした「結」の心は、時代が変わっても失いたくないと願っています。